



会長 菅原 慶一  
 幹事 小野寺 伸浩  
 会報 高田 次雄 村上 武彦  
 森田 峯男  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2688回例会 2019. 4. 11 No.37

### 本日の出席率

・本日の出席率 86.54%

### ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 まだまだ冬の備えは必要そうですね。私は冬タイヤのままですが…。佐藤哲弥会員のスピーチに期待します。
- ・布施孝之会員 佐藤哲弥会員のスピーチに期待して。
- ・村上武彦会員 佐藤哲弥会員のスピーチに期待して。
- ・飯塚仁哉会員 佐藤哲弥会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・佐藤幸一会員 佐藤哲弥会員のスピーチにご期待いたします。
- ・八谷郁夫会員 佐藤哲弥会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・菅野幸一郎会員 久しぶりの佐藤哲弥会員のスピーチ、楽しみにしております。
- ・高田次雄会員 せっかく色気つき始めた櫻のつぼみ綿帽子をかぶり寒さと恥ずかしさで震えております。平成最後の雪でありますように。佐藤哲弥会員、スピーチ勉強させて下さい。
- ・二階堂恭子会員 今日のお話、楽しみにしています。
- ・佐々木崇会員以下 本日のフォーラムに期待して。  
 千葉吉男会員 山田直志会員 佐竹孝行会員  
 菅原文之会員 遠藤光則会員 猪股育夫会員  
 佐々木源悦会員 岩淵正彦会員 熊谷敏明会員  
 布施孝之会員 山田正会員 富士原裕子会員  
 及川昭宏会員 杉田広仁会員 佐藤早智子会員  
 千葉正宏会員 加藤亮会員 伊藤幸子会員  
 佐藤哲弥会員 関孝会員 後藤和人会員  
 及川長五郎会員

以上、ありがとうございました。

### 会長要件 菅原慶一会長

4月だというのに突然の雪、今朝は家の前の桜の蕾の上には雪が積もり、たいへん寒そうな光景でした。今年は何十年か前にあったような冷夏にかなければと思いましたが、令和の「令」が「冷たい」にならなければいいなとも思いました。

毎年この時期になると、今年度は来週に迫りました移動例会、そして地区大会の話になりますが、移動例会について言えば、皆様のご記憶にもあると思いますが、昨年は松島で一昨年は鳴子で行っております。松島で行われた移動例会には、川崎大師、余目、西宮の各クラブからの合計17名の会員の方をお招きしての誠ににぎやかな例会を行うことができました。地区大会は昨年が4月に仙台国際センターで、一昨年が大船渡市民文化会館リアスホールで、その前年の11月20日に行われております。その頃私は幹事で、当時の熊谷敏明会長と約4時間かけて瀬峰駅からJR東北本線下りで一ノ関、そこから大船渡線で気仙沼、さらにBRTバスで目的地大船渡に向かった思い出があります。当日の夜も大船渡の仮設店舗のようなところで、若柳RCや他のクラブの方々と楽しく飲んだのが、今となるとたいへん懐かしく思えます。

さて、今年度は来週4月18日に鳴子で移動例会を行います。現在5名ほど出席予定の余目RCの方たちをお迎えしての楽しい会にしたいと、加藤亮委員長はじめ親睦活動委員会の皆さんが企画しております。宜しくお願いたします。4月21日の盛岡で開催されます地区大会、前日から私と小野寺伸浩幹事は現地に乗り込んでおりますが、こちら楽しい思い出に残る行き帰りの道中にしたいと思っております。

本日、午前中にリハビリ中の鈴木彦太会員のところで山田正副会長、小野寺伸浩幹事の3名で行って来ました。顔色もよく、皆さんによろしくとのことでした。

### 幹事報告 小野寺伸浩幹事

- ・ガバナー事務所より
  1. 地区大会参加・表彰について
  2. ゴールデンウィークによる休業のお知らせ  
2019年4月27日(土)~5月6日(月)
- ・古川東RC  
創立40周年記念式典並びに祝賀会の案内(予定)  
日時 9月21日(土) 午後3時(予定)  
会場 アインバルラ浦島
- ・伊丹有明RCより 会報が届く
- ・東北風土マラソン&フェスティバル2019実行委員会より、実施結果報告書が届く
- ・登米高等学校吹奏楽部親の会より  
第22回定期演奏会広告協賛の依頼
- ・登米文化振興財団より  
東京混声合唱団と歌おうコンサートに伴う名義協力の依頼

### 各委員会報告

- ・親睦活動委員会(加藤亮委員長)  
次週4月18日(木)の例会は、余目RCとの合同移動例会となります。鳴子観光ホテルにて午後6時30分より開催いたします。多数のご参加をお待ちしております。
- ・国際奉仕委員会(千葉正宏委員長)  
4月25日(木)、例会終了後に国際大会参加者打ち合わせをいたします。

### 今週のスピーチ

「パソコンのこと」

#### 佐藤哲哉会員

今日は、生活の一部にもなっているパソコンのこと、私なりに今まで付き合ってきたパソコンのことを話してみようと思います。

パソコンというものを最初にほしいと思ったのは、実はFAXです。お客さんから注文をいただくのですが、当時は電話でメーカーに注文をしてその注文を確認させていたのですが、「聞いた」「聞かない」「数を間違えた」等々、あとは電話をかけてもなかなか出ない、こんなことがありFAXがほしいと思い親父にFAXがほしいと言いましたが、FAXがどんなものか分からない様子でしたので、自分で買って付けました。この様にしてFAXを使用するようになりましたが、業務をより能率的にやりたいために次にパソコンをと思いました。

当時パソコンはいくつか出ておりましたが、60万円、30万円とかなり高価な物でした。写真を撮るのですが、写真のデータ、大きさが、当時フロッピーディスクを入れながらパソコンを動かすのですが、容量が非常に小さく、現在のスマートフォンのように入らないので、何枚も何枚も入れかえながらパソコンを動かしていたという思い出があります。

周りにパソコンに関することを知っている人がいませんでした。パソコンの中にワープロ、表計算、カード型データベース等を入れ、仕事が終わったあと机に向かってよく分からないキーボードをがちゃがちゃやっておりますと、家族から「何をして遊んでいるの

か」とよく言われておりました。ソフト的にあまり良くなかったので、色々やってみて覚えました。

当時はMSDOSというオペレーションソフト、オペレーションソフトという今で言うウィンドウズの前のパソコンを動かす基本部分です。1980年頃から、このMSというの、マイクロソフトのロスという意味あいになるのですが、当時IBMが企業用パソコンからパーソナルのパソコンへうっていきましょうと言った時に、じゃあこのOSというのはパソコンを動かす部分のソフトはどうでしょうか、当時IBMは予算がない、期間も1年以内でなければならぬ、すぐにやれということで、IBM自社で作るよりは外注しましょうという方針になりました。それで一番最初に声がかかったのが、デジタルリサーチ社でした。たまたまその社長さんが出張中で奥さんが対応に出ましたが契約ができずにそれで終わりました。そこでIBMの担当社がマイクロソフト社に声をかけて、当時のビルゲイツはOSは持っていませんでしたがOKのサインをしました。そしてOSを持っている会社を買収していったという流れで、IBMのその時の判断がちょっと違っていたら今のパソコンの業界もずいぶん変わっていたのではないかと考えています。

そのころは、CUIといってマウスでクリックするのではなく、全部キーボードでやっておりました。英語の命令を覚えなくてはならないので、また高校時代覚えた英語を勉強することになりました。

IBMも予算がなく非常に予想がつかないため、マイクロソフトとの契約の方は出荷台数の分だけ支払うことにし、他の企業にもOEMで出してもよいという契約をしたそうです。マイクロソフトの方は、OSなのでコピーを書かせるとどんどん売れていくので、あとは経費がかからない状態なので、それが最初の屋台骨になったみたいです。

日本ではNEC-PC9801が席卷しておりました。MC-2.11バージョンぐらいから私は大体25歳位から使い始めております。当時は立ち上げるのが大変で、いろいろと苦労しておりました。当然業務で使うのでオフィスソフトは何にしようか。松、VJE、一太郎、WXII、これは日本語入力ソフトの名前です。松とVJEは変換効率は良かったのですが今はもうありません。一太郎はあるのですがWXIIはAIソフトという会社で、今のウィンドウズにくっついている日本語変換のもとになったワープロです。

表計算はマルチプランとロータス。マルチプランは今のエクセルの前進で、使ってみたらロータスの方が良かったので、私はそれの方が好きでした。

フロッピーディスクは、パソコンに2枚入れることが出来るのですが、今のパソコンはハードディスク・Cドライブと最初からなっているのですが何故A、Bがないのかというと、このフロッピーディスクを入れる部分が2つあって、それがA、Bなので、その名残りで今のパソコンはCドライブから始まっています。

当時は自分で色々環境を作ることが出来ました。1回に1つの仕事しか出来ませんでした。今のパソコンは色々窓を作って表計算であったり、ワープロを打ったり出来ます。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。